



ざ・神港労連

コロナ禍の中 マスク着用での作業 熱中症にご注意ください

安全部会より

神港労連・安全部会は今年も熱中症予防対策の啓発活動をしております。今年に変異ウイルスで感染拡大しており、益々、マスク着用での作業となっており、梅雨入りも例年より一カ月くらい早く、長い梅雨と思われる。このような状況であり、安全部会から今年も熱中症対策とし、塩タブレットを各単組に配布致します。年々、暑さが厳しくなり最高気温も予想を上回っています。またマスク着用での作業は、熱中症などにもなりやすい状況です。こまめな水分補給をして気分がすぐれない時は無理なく休息を取る様にしてください。

特に午後2時台から午後4時台に気温・湿度も上昇し、疲労も蓄積して行く時間です。熱中症を疑う症状の代表例として、めまい・失神・筋肉痛・筋

第84号

発行元

神戸労働組合
神港労働組合
連合会

肉硬直・大量の発汗・頭痛・気分不快・吐気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・痙攣・手足の運動障害・高温などが挙げられます。そのような症状が見受けられた時は、涼しい場所へ避難させ脱衣と冷却、経口補水液の服用にて、症状の回復を待ち、症状の回復見込みが無ければ、救急車を呼び医療機関へ、搬送するようにして下さい。また、
(古澤・安全部長)



(昌栄運輸・芦田委員長)

一方では水分の過度接種は、水中毒になる恐れがある。過度な塩分補給も心掛けてまいりましょう。水中毒予防には前述の「経口補水液」がおすすです。

(トーヨーシーエス 木原 組長)



(協和装備・瀬尾 組長)

昨年に引き続きコロナ禍での作業を強いられます。マスクを着用しながらの作業が続きますが、適時マスクを外しての「放熱」など、各自工夫して熱中症へのリスクを、少しでも下げよう。工夫していきましょう。

特に持病のある方は、熱中症になりやすく重篤化する恐れも十分あります。意識が朦朧とし自分の状態を判断できないまま急に意識を失う事も考えられます。隣にいる作業員の様子・顔色をチェックし、自分と仲間を守るために、ふりつきからの二次災害「転倒・転落・墜落」の事故も未然に防ぎ、この酷暑期を皆で乗り切ってください。

編集後記

この度、兵庫県港運協会の働きかけにより、我々作業員も7月5日より、コロナワクチンの職域接種を開始する事となりました。

緊急事態宣言は解除となりましたが、蔓延防止等重点措置は継続中です。変異株の出現など、まだまだ予断の許さぬ状況です。各自予防に努めましょう。

身近なニュース・投稿記事等有れば神港労連までご連絡下さい

☎ 32714560
FAX 32714562